

2月23日(日)、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅において、「2025ジャパンアスリートゲームズインオオサキ」が大崎町陸上競技の聖地創り実行委員会と(一財)鹿児島陸上競技協会の主催で開催されました。

第4回目の開催となった今大会には、約200名のエントリーがあり、19種類の競技でそれぞれ競われ、60mと100mには2016年リオデジャネイロオリンピック4×100mリレー銀メダリストの山縣亮太選手や、砲丸投や走幅跳で活躍する台湾陸上ナショナル選手の参加もあり、世界で活躍する選手の活躍を一目見ようと、大勢の観客の来場に会場は熱気で包まれました。また今大会では、5種目において大会新記録を更新しました。

同日MBC南日本放送の主催で「鹿児島トヨペットプレゼンツジャパンアスリートゲームズジュニア陸上教室」が開催されました。講師に2019年世界陸上競技選手権大会4×100m銅メダリストで鹿児島県出身の白石黄良々選手と三浦由奈選手による小学生・中学生までを対象に約65名の参加で、走るための基本姿勢や動作、個別指導や大会見学などがおこなわれました。最後にはお楽しみ抽選会もあり大盛り上がりでした。

大会すべてを通して延べ1000人以上の来場で会場は大いに盛り上がりました。



ジャパン アスリート ゲームズ イン オオサキ

# 2025 Japan Athlete Games in Osaki

スタート前はめっちゃ緊張してレース中は記憶がないです(笑)。大会新記録を狙ってレースに臨んだので、記録を出すことができ嬉しい。今後の目標は、高校でインターハイに出場し入賞を狙うこと。これからも毎日練習を頑張りたい。



大会新記録 7.75秒  
女子中学60m  
小松 璃音 選手  
(国分南中)

約1年ぶりの復帰レースとなり、最初は緊張したがレースを重ねるごとに徐々に緊張も解れて60mでは大会新記録を出すことができよかった。また100mでも記録更新を目標に頑張ったが達成できなかった。世界選手権に向けて自分のペースで今ある課題を日々忘れず1日1日を大事にやっていきたい。



大会新記録 6.66秒  
男子60m  
山縣 亮太 選手  
(セイコーグループ)

大会に出場した選手から  
— 今年の目標と  
大崎町の皆さんにひとこと —